

天草家保通信平成23年10月号

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3
電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393
ホームページアドレス <http://www.pref.kumamo.jp/site/amakusa-1219>
電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



天草地域口蹄疫防疫演習を開催しました

平成23年10月3日、JA本渡五和において天草地域口蹄疫防疫演習を開催しました。当日は市町や関係団体などから約120名の出席をいただき、基調講演として宮崎県えびの市畜産農林課課長の吉留伸也氏をお招きし、「宮崎県えびの市の口蹄疫発生に係る対応について」と題し、えびの市での発生例を基に現場での苦労や課題などもふまえながら、貴重な体験をお話いただきました。続いて、机上演習として家保および天草地域振興局から、発生時の防疫対応や、改正家畜伝染病予防法と飼養衛生管理基準について説明を行い、最後に、実地訓練として防疫服の着脱と車両消毒の方法について実演を行い、防疫作業の確認を行いました。

基調講演



実地訓練～防疫服の着衣～



実地訓練～車両消毒～



口蹄疫が発生した時には速やかな防疫作業により、まん延を防止することが何よりも求められます。そのためには、多くの人員や資材が必要となり、日頃からの訓練による関係機関の連携が重要です。11月には熊本県口蹄疫防疫演習も計画されていますので、関係者の積極的な参加をよろしくお願いいたします。

また、今後も飼養衛生管理基準を遵守し、口蹄疫の侵入防止に努めるよう、畜産農家への指導をお願いします。

アカバネ病の生後感染例が報告されています

アカバネ病はウシヌカカによって媒介されるウイルス性の疾病です。妊娠牛（母牛に異常はない）にアカバネウイルスが感染すると流死産、関節拘縮や水頭症などの体型異常をともなった異常産の原因となります。しかし、平成18年に熊本県や鹿児島県でアカバネウイルスの生後感染による、子牛の神経症状が初めて報告され、平成20年までに西日本各地で発生が見られるようになりました。

今般、島根県において8月下旬～9月下旬にかけて、アカバネ病の生後感染例が多数発生しているとの報告がありました。また、熊本県においても未越夏子牛によるアカバネウイルス抗体検査で、8月に検査を実施した77頭中55頭（71.4%）で抗体陽転が確認されています。県内においてもアカバネウイルスの浸潤が疑われることから、子牛の起立不能や神経症状の発生について注意をお願いします。

※ 生後感染例の発生状況



島根県発生事例

発生戸数 : 18戸
発生頭数 : 26頭
発症月齢 : 5～75ヶ月齢

<事例1>

肥育農場(2頭発症)
ホルスタイン種 5ヶ月齢
8/28～ 沈うつ、起立不能 等

<事例2>

肥育農場(1頭発症)
肉用交雑種 5ヶ月齢
8/29～ 起立不能等

	発生頭数	うち県内発生頭数	その他発生県
平成18年	94	56	山口、愛媛、福岡、大分、宮崎、鹿児島
平成19年	37	0	山口、長崎、鹿児島
平成20年	15	0	兵庫、岡山、大分
平成21年	0	0	なし
平成22年	2	0	兵庫、岡山

【アカバネ病（生後感染例）の症状】

1歳以下の子牛での発生が多い。四肢の麻痺による起立不能、ナックリング、後弓反張などの神経症状が見られるが、脊椎の湾曲などの骨格異常はない。病理学検査では中枢神経系に非化膿性脳炎が認められる。



熊本県中央家畜保健衛生所提供



熊本県中央家畜保健衛生所提供

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668